

1 安全・安心分野

～安全・安心に暮らせる人にやさしいまち～



1-1 防災・減災対策の充実

1-2 消防・救急体制の強化



1-3 交通安全対策の充実

1-4 防犯・消費生活対策の充実

1-5 原子力災害対策の推進





施策 1-1 防災・減災対策の充実

めざすまちの姿

市民一人ひとりが防災・減災*に対する知識を身につけ、理解を深めることで、防災意識の高揚が図られるとともに、自主防災組織等の活動の充実により、平時から災害への備えができてい

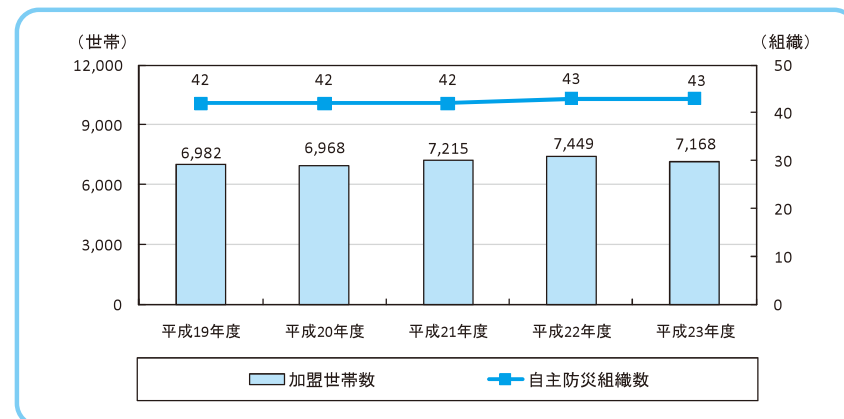
めざす姿の成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	方向性
①自主防災組織*数	組織	43	48	増加を目指す
②防災資機材交付組織数	組織	14	16	増加を目指す
③防災訓練への参加団体数	団体	16	48	増加を目指す

現状と課題

- 東日本大震災により本市の社会基盤は大きな被害を受けたことから、防災・減災対策の強化が求められています。
- 東日本大震災の経験と教訓から、市民自らの「自助*」、消防団・自主防災組織・企業・関係団体などによる「共助*」、行政・常備消防・警察・自衛隊などによる「公助*」の緊密な連携・協力体制の整備が求められていることから、現在、「白河市地域防災計画*」の見直しを進めています。
- 災害発生時に市民一人ひとりが適切に行動できるよう、市民の防災・減災意識の高揚を図る必要があります。
- 町内会等での自主防災組織の結成を促進し、同時に育成を強化するとともに、地域の防災拠点の整備を推進する必要があります。
- 近隣自治体や友好都市、企業との応援協定を締結するなど、災害時における応援協力体制を充実させる必要があります。
- 防災デジタル無線をはじめとする情報通信基盤を整備するなど、災害時の情報伝達手段を確保する必要があります。
- 災害から市民の生命と身体、財産を守るために、急傾斜地や河川の改修・整備を推進する必要があります。

自主防災組織数と加盟世帯数の推移



資料：生活環境課

主要な取組み

取組み	内容
① 防災・減災意識の啓発	関係機関と連携し、町内会、消防団、市民等が参画する防災訓練を実施するとともに、防災マップ等の配布や広報紙・出前講座の活用などにより、平時から災害への備えができるよう、防災・減災意識の啓発を推進します。
② 防災・減災体制の強化	社会経済情勢の変化に対応しながら、「白河市地域防災計画」に基づいた計画的な防災・減災体制の充実を図ります。 地域の防災体制を強化するため、町内会等による自主防災組織の育成・強化を図ります。 近隣自治体等と災害応援協定を締結し、広域的な視点からの防災体制の強化に努めるとともに、防災デジタル無線など災害時の情報伝達手段の整備を進めます。
③ 防災・減災施設の整備	自主防災組織への防災資機材等の整備促進に努めるとともに、地域の防災拠点の整備に努めます。
④ 治山・治水対策の推進	災害の未然防止と被害を最小限に抑えるため、危険性の高い急傾斜地や河川の危険箇所を把握し、国・県と連携して改修・整備を推進します。

めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”

取組み	主体	期待される波及効果
① 自分の身は自分で守るという意識を持って、防災に関する知識を高め、身の回りで実践するとともに、地域での協力体制の確立に努めます。	市民、団体	主要な取組み：① 成果指標：—
自主防災組織の結成や防災訓練の参加に努め、防災活動に積極的に取り組みます。	市民、団体、関係機関	主要な取組み：② 成果指標：①、②

【主な部門別計画】 白河市地域防災計画



施策 1-2 消防・救急体制の強化

めざすまちの姿

地域の安全を守る人材の確保や施設の整備により、緊急時に迅速かつ的確に対応できる消防・救急体制が確立することで、地域住民が安心して暮らせる環境が整っています。

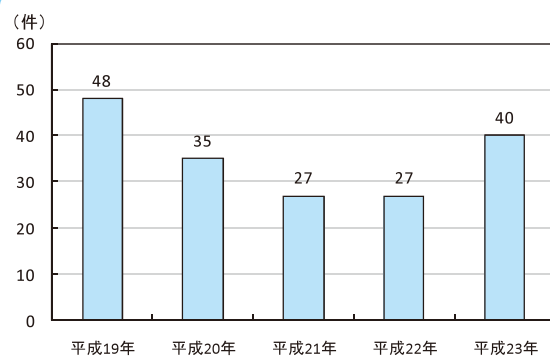
めざす姿の成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	方向性
①火災発生件数	件/年	27 <small>(H24.1~H24.12)</small>	25	減少を目指す
②消防団員数の条例定数に対する充足率	%	95	96	増加を目指す

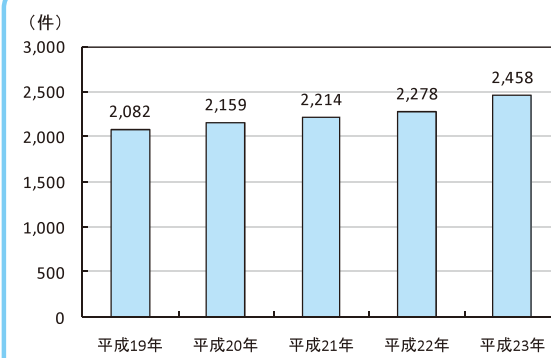
現状と課題

- 東日本大震災での経験から、地域の防災の担い手としても消防団の重要性・必要性は、ますます高まっており、さらなる消防体制の強化が求められています。
- 地域防災力を強化するため、防火意識の啓発や消防施設等の計画的な整備が必要です。
- 消防団員の高齢化や団員不足が顕著であるため、団員が活動しやすい環境整備を図ることが必要です。
- 高齢化の進行や近年の大規模災害の増加により、救急需要は多様化・拡大していることから、救急・救助体制の充実や、市民への救命救急に関する正しい知識と技術の普及を図ることが必要です。

火災発生件数の推移



救急出動件数の推移



資料：白河地方広域市町村圏消防本部

主要な取組み

取組み	内容
① 防火意識の啓発	地域の火災予防力を高めるため、広報紙等による情報提供や市民参加の消火・避難訓練の取組みを進め、防火意識の啓発を推進します。 高齢者などの災害弱者をはじめすべての市民を火災から守るため、住宅用火災警報器の普及促進に努め、家庭における防火対策を促進します。
② 消防体制の充実	火災などによる被害を軽減するため、災害時の応急対策等が迅速かつ的確に行えるよう、白河地方広域市町村圏消防本部、市民、事業者、関係団体との連携による総合的な消防体制の充実を図ります。 消防団の活動に対し、市民や事業者などへの周知・啓発による理解の促進を図るとともに、団員が活動しやすい環境づくりに努めます。
③ 消防施設の整備	火災などの発生に際し、迅速で確実な出動と適切な消防活動を行うため、消防施設や車両・資機材の整備、消防水利*の充実に努めます。
④ 救急・救助体制の充実	白河地方広域市町村圏消防本部における救急隊員や救助隊員の計画的な育成や資質の向上を支援するとともに、医療機関との連携体制を強化し、救急・救助体制の充実に努めます。
⑤ 市民への救命救急知識・技術の普及	救急車の利用のあり方について周知・啓発活動を強化するとともに、救急隊到着までの間に市民等が処置を行えるよう、AEDに関する講習会等の実施により応急手当の普及啓発を図ります。

めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”

取組み	主体	期待される波及効果
① 火災に対する正しい知識を身につけ、防火への意識を高めるとともに、防災訓練への参加に努めます。	市民、団体	主要な取組み：① 成果指標：①
消防団への理解を深めるとともに、消防団活動に協力・参加することで、地域の安全確保に努めます。	市民、団体	主要な取組み：② 成果指標：②
救急車の利用のあり方を理解し、適正利用に努めるとともに、救急救命の知識を学び、技術を身につけ、実践します。	市民、団体	主要な取組み：⑤ 成果指標：—



施策 1-3 交通安全対策の充実

めざすまちの姿

市民一人ひとりの交通安全意識の醸成が図られ、交通ルールを守り、思いやりのある交通マナーを実践しています。

地域ぐるみによる活発な交通安全活動などが行われ、安全な交通環境が整うことで、子どもや高齢者、障がい者の安全が確保されています。

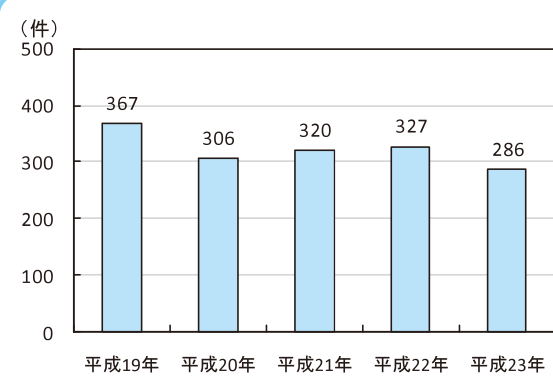
めざす姿の成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	方向性
①交通事故発生件数	件/年	273 (H24.1~H24.12)	256	減少を目指す
②交通事故死傷者数	人	353 (H24.1~H24.12)	334	減少を目指す
③市民交通災害共済*の加入者数	人	23,652	24,930	増加を目指す

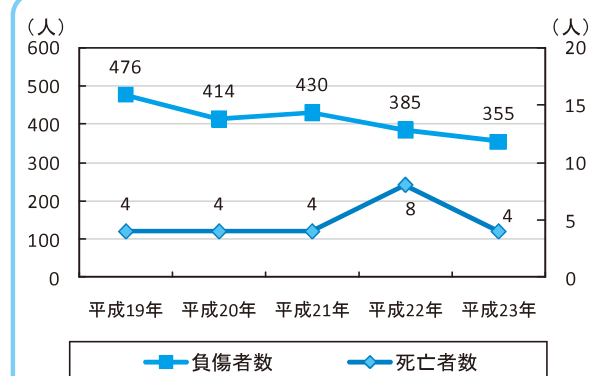
現状と課題

- 近年の交通事故の特徴は、子どもや高齢者が交通事故に巻き込まれるケースが増加するとともに、夕暮時及び歩行中に多く発生しています。さらに、飲酒運転やスピード違反等を原因とする悪質な交通事故は、依然として減少が見られない状況です。
- 交通事故を減少させるためには、警察をはじめとする関係機関や民間団体との連携のもとに、交通安全に向けた教育の充実や普及啓発活動を積極的に推進し、交通社会に参加するすべての市民一人ひとりの交通安全に対する意識の高揚を図る必要があります。
- 子どもや高齢者を交通事故から守るため、地域住民や行政が一体となって、安全な交通環境の整備を図る必要があります。
- 交通事故により災害を受けた方を対象に、救済を目的とした市民交通災害共済事業を行っています。万一の交通事故災害に備えて、今後も引き続き、制度の周知・啓発を図り、加入促進に努める必要があります。

交通事故発生件数の推移



交通事故死傷者数の推移



資料：白河警察署

主要な取組み

取組み	内容
① 交通安全意識の啓発	警察をはじめとする関係機関や民間団体と連携して、交通安全運動を展開し、交通ルールの遵守徹底など交通安全意識の啓発に努めます。子どもや高齢者など各世代に応じた交通安全教育の推進に努めます。シートベルト着用などを促す街頭活動や交通指導員の協力による通学路の安全確保など、市民や地域が一体となった交通安全活動を推進します。
② 交通安全環境の整備	道路反射鏡や道路照明等の交通安全施設の整備を図るとともに、適正な管理を行うことで事故の防止に努めます。交通情勢の変化に応じて、必要な箇所については、信号機・交通標識の設置や交通規制の実施を関係機関に要望していきます。
③ 交通事故被害者救済対策の充実	万一の交通事故災害に備えて、市民交通災害共済制度の周知・啓発を図り、加入促進に努めます。

めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”

取組み	主体	期待される波及効果
① 交通安全教室に参加して、交通ルールとマナーを熟知し、交通事故の防止に努めます。	市民	主要な取組み：① 成果指標：①
交通災害共済制度に加入し、被災者を会員相互による助けあい支えます。	市民	主要な取組み：③ 成果指標：③

【主な部門別計画】 第9次白河市交通安全計画



施策 1-4 防犯・消費生活対策の充実

めざすまちの姿

自分たちの地域は自分たちで守るという意識のもと、地域自衛型の防犯活動が行われ、地域社会において犯罪や事件の起きにくい防犯体制が整っています。

消費者トラブルに巻き込まれない対策が適切に行われ、日常生活の安心が確保されています。

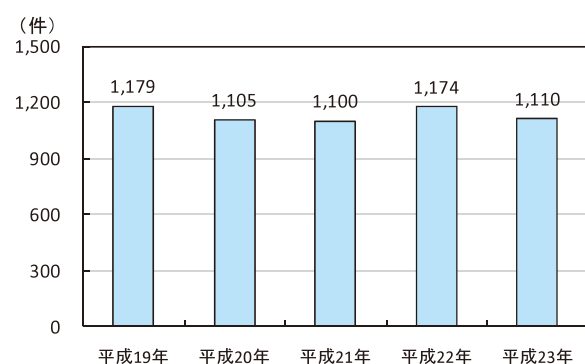
めざす姿の成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	方向性
①犯罪発生件数（刑法犯認知件数）	件／年	811 (H24.1~H24.12)	730	減少を目指す
②消費生活相談の開催回数	回／年	53 (H24.1~H24.12)	58	増加を目指す

現状と課題

- 全国的には子どもや高齢者を狙った犯罪が増えており、地域での見守り活動など、地域が一体となった防犯体制づくりが必要です。
- 地域においては、自主的な防犯活動が展開されており、今後のさらなる活性化に向け、防犯意識の高揚に努めながら、団体間の連携・協力体制を充実することが必要です。
- 道路、街路灯、歩道等については、防犯に配慮した整備や管理を推進する必要があります。
- 消費者を取り巻く環境は、情報通信技術の発展、消費生活の多様化・高度化が進み、消費者問題は相談内容が複雑化・高度化・長期化し、消費者トラブルは増加傾向にあります。
- 関係機関等と緊密に連携しつつ質の向上を図りながら効率的かつ効果的に実施していくため、県消費生活センターや関係機関との連携のもとに消費生活相談や啓発活動の充実に取り組む必要があります。

犯罪発生件数（刑法犯認知件数）の推移



資料：白河警察署（白河警察署管内）

1 安全・安心分野 ～安全・安心に暮らせる人にやさしいまち～

主要な取組み

取組み	内容
① 防犯意識の啓発	防犯に関する講演会等を開催するとともに、パンフレットの作成や広報紙・ホームページ等による情報提供に努め、防犯意識の向上を図ります。
② 防犯体制の充実	警察や地域、関係機関・団体とのさらなる連携の充実を図るとともに、市民が主体的に行う防犯活動の育成と支援を推進します。 防犯指導隊の活動を充実させ、地域全体で防犯力を高める取組みを実施します。
③ 防犯施設等の整備	街路灯等の防犯上必要な施設の整備を推進するとともに、道路・公園等の樹木を適切に管理し、死角をつくらないなど、防犯に配慮していきます。
④ 消費相談体制の充実	消費者トラブルが複雑化、多様化、長期化する傾向にあるため、関係機関・関係団体と緊密な連携を保ち、消費者相談窓口との連絡体制の強化や相談体制の充実にも努めるとともに、無料法律相談を実施し消費者問題に対し適切に対応します。
⑤ 消費者の意識・知識の啓発	消費者トラブルの対処方法や頻発している問題事例などの情報を提供できるよう努め、警察署など関係機関との連携を強化し、啓発活動を推進します。

めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”

取組み	主体	期待される波及効果
① 犯罪等による被害から身を守るため、防犯や消費者トラブルに関する基本的な知識の習得に努めます。	市民	主要な取組み：①、⑤ 成果指標：①、②
② 地域に暮らす誰もが安全・安心に暮らせるよう、地域ぐるみでパトロールや見守りを行います。	市民、団体、関係機関	主要な取組み：② 成果指標：①



施策 1-5 原子力災害対策の推進

めざすまちの姿

放射性物質による環境汚染への対処が行われ、市内全域が放射線から安全な地域となり、市民が安心して元の生活を送れています。

めざす姿の成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	方向性
①住宅除染の実績	戸	30	22,000	増加を目指す

現状と課題

- 原子力災害により、市民は、放射性物質による健康影響への不安をはじめ、精神的なストレスにさらされており、原子力災害の収束、環境の回復が求められています。
- 放射線に対する正しい知識の欠如、不正確な情報の拡散などにより、地域の状況が正しく理解されていないことから、風評被害*が生じています。
- 一日も早く震災前の生活を取り戻すため、市内全域の放射線量や放射性物質の分布状況などのモニタリング*を継続しながら、迅速かつ効果的に除染対策を推進する必要があります。
- 市では、独自に本格的除染までの緊急的措置として、住宅地を対象としたホットスポット*除染に取り組んできました。
- 放射性物質に汚染された廃棄物や除染によって発生する除去土壌などの処理が課題となっています。

市内の空間線量率*（市内14地区）

地区	平均空間線量率	空間線量率(最小・最大)
旧白河町地区	0.49μ Sv/h	0.20~0.85μ Sv/h
大沼地区	0.45μ Sv/h	0.28~0.64μ Sv/h
白坂地区	0.61μ Sv/h	0.39~1.16μ Sv/h
小田川地区	0.66μ Sv/h	0.40~1.14μ Sv/h
五箇地区	0.34μ Sv/h	0.24~0.55μ Sv/h
関辺地区	0.37μ Sv/h	0.24~0.53μ Sv/h
旗宿地区	0.47μ Sv/h	0.34~0.66μ Sv/h
旧表郷村古関地区	0.33μ Sv/h	0.22~0.50μ Sv/h
旧表郷村金山地区	0.30μ Sv/h	0.22~0.58μ Sv/h
旧表郷村社地区	0.28μ Sv/h	0.23~0.38μ Sv/h
旧大信村信夫地区	0.66μ Sv/h	0.25~1.82μ Sv/h
旧大信村大屋地区	0.76μ Sv/h	0.35~1.57μ Sv/h
旧東村釜子地区	0.27μ Sv/h	0.17~0.40μ Sv/h
旧東村小野田地区	0.24μ Sv/h	0.12~0.35μ Sv/h

※測定器：日立アロカメディカル㈱ TCS-172B

※測定場所：地上0.5m、1m

※測定期間：平成23年10月下旬～平成24年1月中旬

平成24年6月下旬(東釜子地区、東小野田地区)

平成24年8月上旬(旧白河市五箇地区、旧表郷村、旧東村)

資料：放射線対策課

1 安全・安心分野 ～安全・安心に暮らせる人にやさしいまち～

主要な取組み

取組み	内容
① 放射線等の実態把握	国・県及び関係機関と連携して、空間線量率や大気などに含まれる放射性物質のモニタリングを継続的に行うとともに、市民に分かりやすく公表します。
② 除染対策の推進	除染実施計画に基づき、追加被ばく線量が年間1ミリシーベルト以下となることを目指し、住宅・道路・学校施設・公園・農地・森林などの早期の除染に努め、生活空間の放射線量の低減化を図ります。 国・県及び関係機関と連携して、除染の人材育成、効果的・効率的な技術の普及など、迅速な除染の推進体制の強化に努めます。
③ 汚染廃棄物の円滑な処理	除染や仮置場に関する住民理解を促進しながら、除染に伴って生ずる除去土壌等については、市が設置する仮置場に運搬・保管します。
④ 円滑な原子力損害賠償請求の支援	原子力損害賠償に関する電話相談や弁護士などによる巡回法律相談に関する情報の提供などにより、賠償請求の支援に努めます。

めざすまちの姿の実現に向けた“協働の取組み”

取組み	主体	期待される波及効果
① 放射線等に関する知識を身につけ、日常生活において適切に行動をします。	市民、団体	主要な取組み：① 成果指標：—

【主な部門別計画】 白河市除染実施計画